

2013年4月18日

スバル初のハイブリッドシステムを日本初公開

富士重工業は、スバル初のハイブリッドシステム搭載車(日本仕様プロトタイプ)を、本日開催した技術発表会で日本初公開しました。

スバル初のハイブリッドシステムは3月29日にニューヨーク国際自動車ショーでワールドプレミアしたもので、スバルらしい走りの愉しさ「Fun to Driveを実感できるハイブリッド」です。

ハイブリッド化に伴い搭載するモーター、高電圧バッテリーなどは、スバル独自のシメトリカルAWDのレイアウトを活かしたまま配置され、ベースとなるガソリン車と同等の低い重心高・優れた重量配分をハイブリッドでも実現しています。

また、JC08モード燃費値で20.0km/L*と燃費の向上も果たしながらも、モーターをアシストとして用いることで、加速感のある楽しい走りを実現しています。

このハイブリッドシステム搭載車は、日本国内では初夏の発売を予定しています。



ハイブリッドシステム搭載イメージ

<ハイブリッドシステム、パワーユニット>

- ・トランスミッションはリニアトロニック(CVT)をベースにプライマリープーリーの後方にハイブリッド用の駆動モーターを配置することで専用トランスミッションとして開発しました。
- ・2.0L水平対向4気筒DOHCエンジンの徹底的なフリクション低減等に取り組み、ハイブリッド車専用エンジンを開発しました。
- ・高電圧バッテリー等の新規重量部品はラゲッジルームの下にコンパクトに集中配置しました。結果、車両の前後左右の重量配分や重心高、ラゲッジルームのスペースは、ガソリン仕様と同等のレベルを確保しています。
- ・低速領域ではエンジンを切り離してEV走行、中速領域ではモーターアシスト走行を可能にし、燃費性能の向上と軽快な走りを実現しました。

*:国土交通省審査値。

燃料消費率は定められた試験条件のもとでの数値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。